

# ヴェリタスツアー in 大阪

日時：11/1（土）～11/2（日）

場所：高槻高等学校 コナコピアホール

大阪大学免疫学フロンティア研究センター（IFRec）

参加者：厚木高校女子生徒6名（1年生4名、2年生2名）

今回のヴェリタスツアーは大阪方面ということで、1日目は大阪府のSSH校である高槻高等学校で開催された「STEMgirl 中高生のための理系女子 mixer」というイベントに参加してきました。本イベントは理系女子の進路について考えるイベントになっており、会場のホールは女子生徒でいっぱいになっていました。

実際のロールモデルとして、京都大学理事、高槻高校OGの京都大学生徒、外資系製薬会社に務めているOGの方々の話を聞かせていただきました。「理系の進路ってどんなもんの？」「研究者の働き方って？」「理系大学生の一日って？」なんていう素朴な疑問が一気に解消され、具体的な将来のイメージにつながったと思います。質疑応答の時間では、一番に厚木高校の生徒が手を挙げ質問してくれました。その後も何名か続き、積極的に取り組む姿勢が見ることができて、とても嬉しかったです。

二日目は大阪大学免疫学フロンティア研究センター（IFRec）を訪問し、講義と研究所を案内していただきました。IFRecは2025年のノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文先生が特任教授を務める研究所です。タイムリーなタイミングで訪問させていただくことができました。

講義では免疫学やその研究者についての話をしていただき、普段の授業では聞けないような深い内容が多く、みんな興味津々に話を聞いていました。研究者から見たノーベル賞や受賞者についての考えも知ることができ、新たな視点を得ることができました。研究所見学では実際にメディアが取材に来た際の裏話なんかも聞かせていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

今回のツアーの目的の一つは「理系の進路について考えてみる」でした。参加生徒はしっかり目的を達成し、将来について考えるための貴重な経験を積むことができたと思います。



「STEMgirl」のポスターと一緒に



坂口先生の（ほぼ）等身大ポスターと

生徒の振り返りを一部抜粋して掲載します。ぜひご覧ください。

・理系女子 mixer では様々な方面で活躍されている京都大学の方の幼少期の話や科学に興味を持ったきっかけを直接聞くことができ、大変参考になりました。全国大会で活躍されている高槻高校の先輩の話も聞くことができました。同年代の方の活躍ぶりに刺激を受けました。

・自分の進路や人生での悩みは、やりたいことに挑戦してたくさん彷徨ったら、答えや解決策が見つかるかもしれない。私はやりたいことや興味あること、趣味が多すぎて、どの分野が1番自分にあっているのか、どの道を進めばいいのか迷っている。だが、今回の講演を受けて、「迷い」を大切にしたいと思えた。失敗から学ぶことのほうが自分をより高めてくれる。だから、自分の心に従って、できるできないを考える前に、やってみたいと思った。

・iFreC では、最先端の施設を見学できて、その規模の大きさに驚き、ノーベル賞が身近にある業界ということを感じた。

お話を受けて、何事も突き詰めることが大事だと思った。大学では何が起こるか本当にわからないんだと思った。好きな事を選ぶ勇気がなかったけど、今回のツアーで、その勇気が持てた。

・理系の女子の人たちは、具体的にどんな人がいるのかを知らなかったが、今回ツアーに行ってみて、もともと理科に興味があった人たちだけでなく、高校で学んだある分野がきっかけで理系の道を選んだり、様々な選択をしたうえで最終的に理系の道を選んだりしていて、自分の思うままの様々な生き方があるのだと感じられた。なので、この先も焦る必要はなくて、自分のチャレンジ精神を大切にしながら、ひとつひとつ選択していった先に、本当の自分が知れて、仕事もそうだし人生も楽しいものになれることを学んだ。あと、京都大学の先生の話のとおり、今決断したところでこの先また意思は変わっていくのだから、失敗は恐れないことを大切にしていきたい。

・今回のツアーは理系中心だったけど、文系よりの人でも、これからの大学に向けての選択の仕方、人生の過ごし方について学べるものはたくさんあった。また、あまり関心のなかった理系の分野も少しおもしろいと思えるようになって、行く前といったあとで視野が大きく広がったように思えた。理系の人たちが研究者として、私たちの生活水準をより向上できるような技術を最先端で開発し、普及している姿はすごかった。私も、そんな日々社会で頑張っている人たちを支えられるような、日々の生活がいつもよりもっといいものになるような、工夫ができる仕事に就きたいと思った。

あと、大阪や京都での観光では、普段食べられない美味しいグルメに出会えたり、いろんなお土産も買えたりして、修学旅行みたいでいい思い出になった。

・理系に対するイメージが大きく変わったなと思いました。最初は硬い、難しい、困難というイメージがありましたが、数ある職業のうちの一つという捉え方に変わりました。研究する分野について悩んでいたけど、自分がまだちゃんと探していないだけで、意外と決まるきっかけはすぐそばにあると気づきました。たくさんいろんなものに触れて、自分が納得できるものを探そうと思いました。

・理系に進むことへの不安がほぐれました。一口に理系と言ってもいろんな関わり方があると学べてよかったなと思いました。自分の興味を固めるために、焦らずゆっくり、きっかけを探そうと思います。

・今回初めてヴェリタスツアーに参加したのですが、勇気を出して参加してよかったなと思います。一日目の高槻高校でのイベントでは、今後参考にしていきたいような貴重なお話を聞くことができました。特に京都大学の理事長先生の、「人生において無駄なことは何一つない」という言葉が心に残っています。また、実際に別の高校の生徒と交流してみて、同じ高校生でもこんなに何かに頑張っている人がいるんだと、とても刺激をもらいました。2日目では、大阪大学で免疫学をメインにお話を聞きました。どのようにして免疫学が発展してきたのか、授業では学べないようなことが知れて、とても面白かったです。今回学んだことを今後に活かしていきたいです。またこのような機会がぜひあれば参加したいと思います。このような場を設けてくださり、本当にありがとうございました。